

おぼん

かぜ
風のよう^にに身に^み添^そい
ち^なか^がすい^ごごと
地下水^の如^くに
なが^つつづ^く
流れ^{つづ}ける

Amida's Original Vow always envelops us
like air and ceaselessly flows like spring water.

真宗教団連合2022年法語カレンダーより



ご縁を慶び、お念仏とともに

親鸞聖人 御誕生

50
立教開宗
800

2023(令和5)年 度讃法要日程

第1期

3月29日(水)~4月 3日(月)

第2期

4月10日(月)~4月15日(土)

第3期

4月24日(月)~4月29日(土)

第4期

5月 6日(土)~5月11日(木)

第5期

5月16日(火)~5月21日(日)

本願寺(西本願寺)にて修行

御同朋の社会をめざす運動(実践運動)

兵庫教区委員会

『ぬくもりは今ここに』

「ねえボク。おばちゃん、この窓からすきま風が入ってきて寒いんや。ボク、おばちゃんと席替わってくれへん？」

見知らぬおばちゃんは幼稚園児の私にそう言いました。

夏休みに家族で遠出をしようと電車に乗ったはいいものの、途中で乗り換えた電車はぎゅうぎゅう詰め満員電車。私は空いた席に家族から離れて一人座らせてもらっていたのです。

「こんなに暑いのに、おばちゃん寒がりなんやな」と思いつつ、おばちゃんと席を替わり、私が窓側の席に座りました。

それからおばちゃんは、自分や家族のことを話してくれました。時折、窓の外を指差して「あの川でね、この前花火があったのよ」「あの山は冬になると頭に雪をかぶるのよ」と教えてくれました。私もおばちゃんに自分や家族のこと、幼稚園のこと、いろいろなことを話しました。あっという間に時間は過ぎ、おばちゃんが降りる駅に着きました。

「おばちゃんはここで降りないといけないの。席を替わってくれてありがとう。元気だね」と言ってカバンから飴玉を出して私にくれました。

不意に涙が溢れそうになったけど、私はぐっとこらえて「バイバイ」と言いました。

おばちゃんは電車の窓の外からもう一度手を振ってくれました。

あれから三十年以上が経って、私はようやく気付きました。

おばちゃんはすきま風が寒かったんじゃない。ひとりぼっちで席に座っている私に孤独を感じさせまいと、景色を見せ、たくさんおしゃべりしてくれたのだ。私はおばちゃんの優しさの上に座らせてもらっていたのだと。

今年もお盆を迎えます。

亡き方を思っ手を手を合わせる時に、今じわりと染みってくる優しさがありますか。その手は私が合わせる手でありながら、その手を合わせてくださったのは他でもなく、亡き方なのです。

そっとお称えする「南無阿弥陀仏」のお念仏は「私はここにいろよ、あなたはひとりじゃないよ」という、阿弥陀さまと、先立っていかれた方々が今この私を喚ぶ声なのです。今も、これまでも、ずっと大きな大きな優しさの上で私は生かされていたのだと、合わさる手の温もりに想うのです。



揖龍東組西福寺 尾野智行